

# Futaba. R6303SBE

パークフライ/インドアブレン/小型 EP ヘリ用  
**FASST-2.4GHz (7ch/8ch/10ch/Multi-ch) 方式対応 / CH 切替機能**  
**S.BUS 出力 + 従来出力 (CH1-3) / ハイスピード 受信機**



1M23N17463

この度は弊社 **FASST-2.4GHz** システム対応受信機 **R6303SBE** をお買上げいただきまして誠にありがとうございます。この **R6303SBE** には **S.BUS** システム用の出力ポートおよび従来システム用のチャンネル出力 (CH1-3) が搭載されています。**S.BUS** システム対応のサーボやジャイロ等の他、従来システムのサーボ等も併用することが可能です。

また、CH 切替機能が付き、ポート 1、2 の出力 CH を 7 グループから選択できます。

さらに、送信機とのリンク操作時、**FASST-2.4GHz** 方式 7ch または 8ch/10ch/**Multi-ch** モードの信号を自動判別します。その他、ハイスピードモード (高速応答動作モード) を選択できます。

## ハイスピードモード使用時の注意 (従来出力)

### △注意

- ⊘ **ハイスピードモード使用時、従来システム用のポート 1、2 および 3 CH 出力には、アナログサーボは使用できません。**
  - アナログサーボを使用するとサーボ故障の原因となります。弊社製デジタルサーボ (ブラシレスサーボを含む) または **S.BUS** サーボを使用してください。
  - アナログサーボはノーマルモードでご使用ください。
- ※ 弊社製以外の EP アンプをご使用の場合、ハイスピードモードで動作しない場合があります。この場合は、ノーマルモードに切り替えてご使用ください。

●この受信機は FASST 方式 7ch または Multi-ch (8ch/10ch 含) モードの送信機およびモジュールに対応します。

### △警告

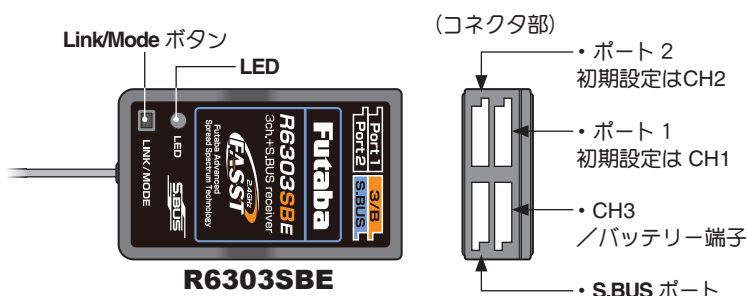
- ⊘ **カーボン製の胴体の場合、胴体内部に受信機アンテナが覆われないようにする。**
- 受信状態が悪くなり墜落する危険性があります。
- ⊘ **カーボン製の胴体と受信機アンテナが接触しないようにする。**
- 受信状態が悪くなり墜落する危険性があります。
- ⊘ **大型の機体には使用しない。**
- この受信機はパークフライやインドアブレン、EP ヘリ (ローター直径約 1000mm 以下) 専用のため、大型機では受信距離が足りず墜落する危険性があります。

### 使用電源について

定格 4.0V 以下の電源の使用はお薦めできません。やむを得ずこのような低電圧の電源を使用する際は以下の点に留意してください。

- フェールセーフ機能は OFF にする。さもないと、バッテリーフェールセーフ機能が働いてしまい、通常飛行の妨げになります。
- 飛行前にアンプやサーボを最大負荷状態にしたときでも受信機が正常に動作していることを確認してください。受信機は 3.5V 以下になると正常に動作できなくなります。従って、この確認は非常に重要です。
- アンプやサーボがこのような低電圧でも正常に動作することを確認してください。
- 受信機用バッテリーは「3 / B」以外のコネクタにも接続可能です。

また、サーボの定格を超えない電源を使用してください。



### 受信機 LED 表示

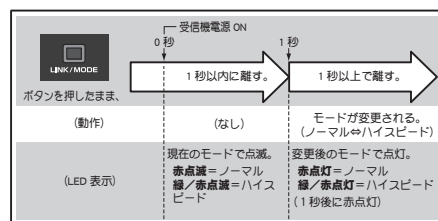
緑色	赤色	状態
点灯	点灯	初期化中 (ハイスピードモード時)
消灯	点灯	無信号時
点灯	消灯	通常動作時
点滅	消灯	受信信号の ID が不一致
交互点滅		エラー表示。 電源再投入で回復できない場合は弊社カスタマーサービスセンターへ点検・修理依頼してください。

### ハイスピードモード/ノーマルモードの変更

ハイスピードモードまたはノーマルモードへの変更は下記の方法で行ってください。(初期設定はノーマルモード)

- 1 受信機電源を OFF にします。
- 2 **Link/Mode** ボタンを押した状態で、受信機電源を ON にします。その後、**Link/Mode** ボタンは 1 秒以上保持します。(LED が現在のモードで点滅します)
- 3 ボタンを離します。
- 4 受信機電源を OFF にします。

※ 上記の操作でハイスピードモードとノーマルモードを交互に切り替えることができます。



### 【動作モードの確認】

受信機側のみ電源を ON にして、LED で動作モードを確認することができます。

- ※ 受信機電源 ON 後 :  
 ・赤点灯の場合はノーマルモード  
 ・緑/赤ともに点灯 (2 秒後に赤点灯) の場合はハイスピードモード

※ 周囲で **FASST-2.4GHz** 送信機が使用されていない状況で確認してください。周囲で **FASST-2.4GHz** 送信機が使用されている場合、上記のように一瞬点灯後、直ちに通常の状態表示に切り替わり、判別が困難です。

### 【R6303SBE 受信機仕様】

**FASST-2.4GHz 方式 (7ch/8ch/10ch/Multi-ch モード) 対応、S.BUS 出力 + 従来システム用出力 (CH1-3)**

- ・サイズ/重量 : 22.5x37.4x9.3mm / 6.3g
- ・使用電源 : 3.7 ~ 7.4V (使用可能電圧範囲 : 3.5 ~ 8.4V)

※ BEC 電源を使用する場合、容量がご使用のサーボ等の条件に合っていることが必要です。また、乾電池は使用しないでください。誤動作の原因となります。

※ バッテリー F/S 電圧は 4 セルニッケド/ニッケル水素バッテリー用に設定されています。その他バッテリーを使用の場合、バッテリー F/S 機能は適正に動作しません。

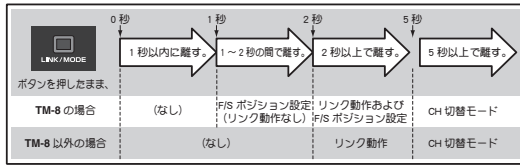
※ F/S 機能は、Multi-ch モード時、全チャンネル設定可能。ただし、送信機側の機能により異なります。7ch モード時は 3 チャンネル目のみ設定可能。

※ S.BUS 出力は、7ch モード時、最大 7ch 迄対応。8ch/10ch/Multi-ch モード時、最大 16ch + DG1/2ch 迄対応。ただし、使用可能チャンネル数は送信機により異なります。

## リンク操作

Link/Mode ボタンによりリンク操作を行います。

また、TM-8 モジュールを使用時、F/S ポジション (3CHのみ) の設定が可能です。



※リンク操作時、送信機の FASST-2.4GHz モード (7ch または Multi-  
ch モード) を自動判別します。

※リンク操作、F/S ポジション設定方法等の詳細は、ご使用の送信機  
またはモジュールの取扱説明書をご覧ください。

※リンクボタンを5秒以上押しとCH切替モードにはいってしまい  
ます。それ以前にボタンを離してください。

### 警告

⊘ リンク操作時は動力用モーターが接続された状態や  
エンジンがかかった状態では行わない。

■ 不意にモーターが回転したり、エンジンが吹け上った  
りすると大変危険です。

ⓘ リンク操作が完了したら、一旦受信機の電源を入れ  
直し、リンクした送信機で操作ができることを確認  
する。

## CH 切替モード

Link/Mode ボタンにより CH 切替を行います。

ポート 1、ポート 2 の出力 CH を 7 グループから選択  
できます。

- 1 受信機電源を ON にします。LED が赤点灯もしくは  
緑点滅していることを確認します。(送信機は OFF)
- 2 Link/Mode ボタンを 5 秒以上長押しします。
- 3 LED が赤 / 緑同時点滅になったらボタンを離します。
- 4 CH 切替モードになり、現状のグループの LED 点滅  
になります。(初期設定はグループ 1) ※ CH を確定  
しないとこのモードから抜け出せません。
- 5 Link/Mode ボタンを押すたびにグループ 1 → グループ  
2 → グループ 3 ... グループ 9 → グループ 1 と  
変わっていきます。グループは次表の LED 点滅で確  
認します。
- 6 変更したいグループの LED 点滅状態となったら  
Link/Mode ボタンを 2 秒以上長押しします。
- 7 LED が赤 / 緑同時点滅になったらボタンを離します。  
1 秒間 LED が赤 / 緑同時点灯となりグループが確定  
します。
- 8 CH 切替が完了したら電源を入れ直し CH が切り替  
わったことを確認してください。

※リンク済みの送信機の電源が ON になり受信開始するとチャンネル  
切替モードには入りません。

### 修理を依頼されるときは

- 修理を依頼される前に、もう一度この取扱説明書をお読みになって、チェッ  
クしていただき、なお異常のあるときは、弊社カスタマーサービスまで修理  
依頼してください。ただし、損傷の程度によっては、修理不能になる場合が  
あります。

< 受付時間 / 9:00 ~ 12:00 / 13:00 ~ 17:00、土・日・祝日・弊社休日を除く >

#### ■ 双葉電子工業 (株) ラジコンカスタマーサービス

〒 299-4395 千葉県長生郡長生村藪塚 1080 TEL.(0475)32-4395

#### ■ 双葉電子工業 (株) 関西地区ラジコンカスタマーサービスセンター

〒 577-0016 大阪府東大阪市長田西 3-4-27 TEL.(06)6746-7163

## チャンネル切替グループ表

CH グループ	LED 点滅	ポート 1 出力	ポート 2 出力
グループ 1	赤 1 回	CH1	CH2
グループ 2	赤 2 回	CH1	CH4
グループ 3	赤 3 回	CH2	CH4
グループ 4	緑 1 回	CH1	CH5
グループ 5	緑 2 回	CH2	CH7
グループ 6	緑 3 回	CH4	CH8
グループ 7	赤 / 緑 1 回	CH11	CH12
グループ 8	赤 / 緑 2 回	使用しません	使用しません
グループ 9	赤 / 緑 3 回	使用しません	使用しません

※グループ 8、9 は特殊なモードのため通常は使用しません。  
※ 7ch モードでは 8CH 以上のチャンネルは制御できません。

※ 3CH および S.BUS はどのグループでも出力します。

## GYA430,431,CGY750 を使用する場合

S.BUS ジャイロの種類によってグループを下表のように変更するとポート  
出力を有効に使用することができます。各ジャイロで制御される CH のサー  
ボは受信機ではなく S.BUS ジャイロに接続します。

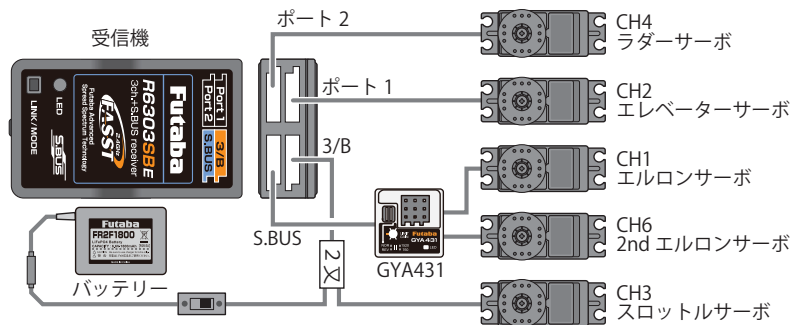
※詳しくは各ジャイロの説明書をご参照ください。

### S.BUS 対応ジャイロ別グループ表

S.BUS 対応ジャイロで制御する CH	CH グループ
ラダー	グループ 1
エレベーター	グループ 2
エルロン	グループ 3
エレベーター + ラダー	グループ 4
エルロン + ラダー	グループ 5
エルロン + エレベーター	グループ 6
エルロン + エレベーター + ラダー または CGY750	グループ 7

### [ GYA431 グループ 3 の接続例 ]

(飛行機のエルロンにジャイロを使用)



### ● S.BUS システムをお使いの場合

※ S.BUS サーボを S.BUS 出力に接続する場合、チャンネル設定が必要です。  
この場合、チャンネル設定機器 SBC-1 または S.BUS チャンネル設定ができる  
対応受信機を使用し S.BUS サーボにチャンネル設定します。例えば、S.BUS  
サーボに CH2 を設定した場合、従来システム用出力の CH2 と同じ動作とな  
ります。

※ S.BUS 使用時は必ず送信機の電源を ON にしてから受信機の電源を ON にし  
て、正常に操作できることを確認してからご使用ください。また、受信機電  
源が ON の状態で S.BUS サーボのコネクターを抜き差ししないでください。

※ R6303SBE 受信機の場合 S.BUS サーボと従来のサーボとの併用も可能です。  
ただし、S.BUS 出力端子には従来サーボは接続できません。

※ S.BUS サーボを別電源で使用する場合は、S.BUS 延長コード (2 分岐 / 別電  
源用) を使用します。接続方法は延長コードに付属の取扱説明書をご参照く  
ださい。